

卒業生調査 アンケート回答まとめ(2024 年度)

今年度は、2015 年度と 2020 年度の卒業・修了生に対してアンケートを実施した。

1. アンケート実施の期間等

2024 年 8 月 27 日～9 月 11 日

グーグルフォームによる調査票配布と回収

2. アンケートの回収数とプロフィール

① 回収数：20 通

② 卒業・修了所属

製造学科	6
建設学科	9
ものづくり学研究科	5
計	20

③ 勤務先の業種

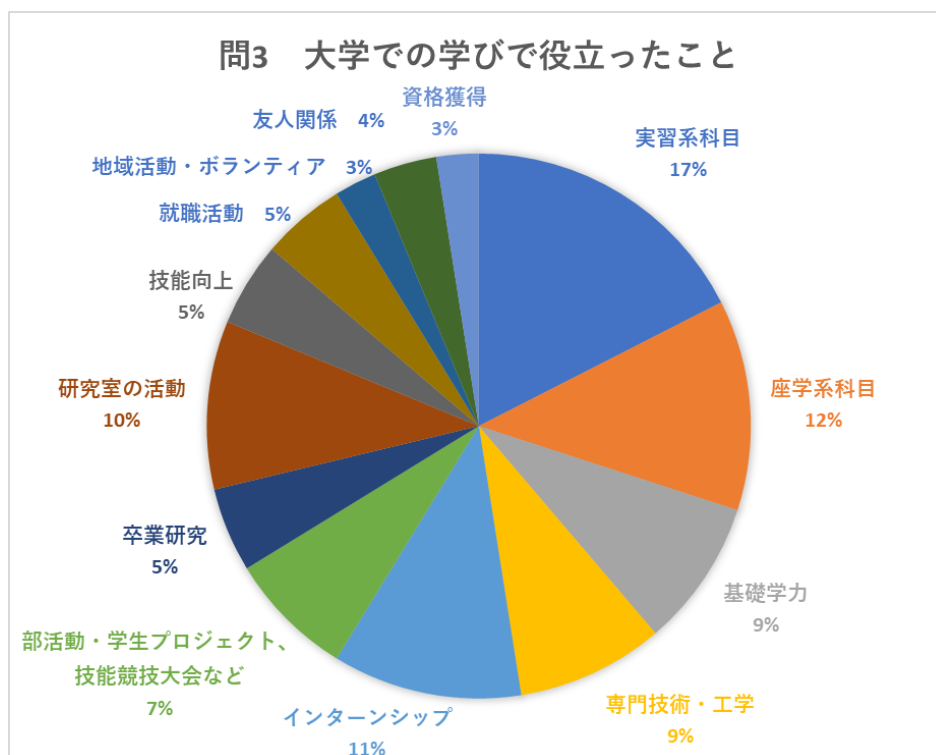
製造業	8
建設業	8
運輸業	1
サービス業	1
医療・福祉	1
その他	1
計	20

④ 勤務先の職種

研究開発職	1
設計技術職	6
生産技術職	1
技能職	5
サービス職	1
管理監督職	4
その他	2
計	20

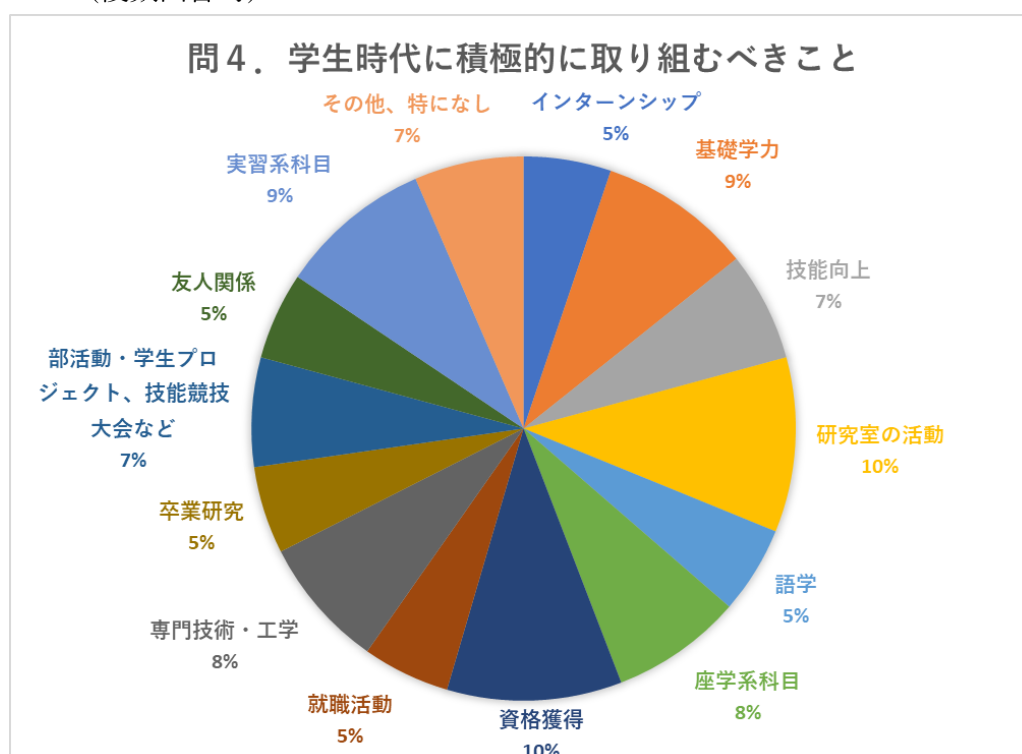
3. 調査結果

- ① 問3. 大学での学びが役に立っていることがあれば具体的に教えてください。
(複数回答可)



ほとんどまんべんなく挙げられているが、1位が「実習系科目」、2位が「座学系科目」で、両方を挙げた人が5割であった。少ないのは、語学がゼロであった。

- ② 問4. 学生時代に積極的に取り組むべきだったと思うことはありますか？
(複数回答可)



この問いもまんべんなく挙げられているが、1 位は「研究室の活動」と「資格獲得」、2 位は「実習系科目」と「基礎学力」である。

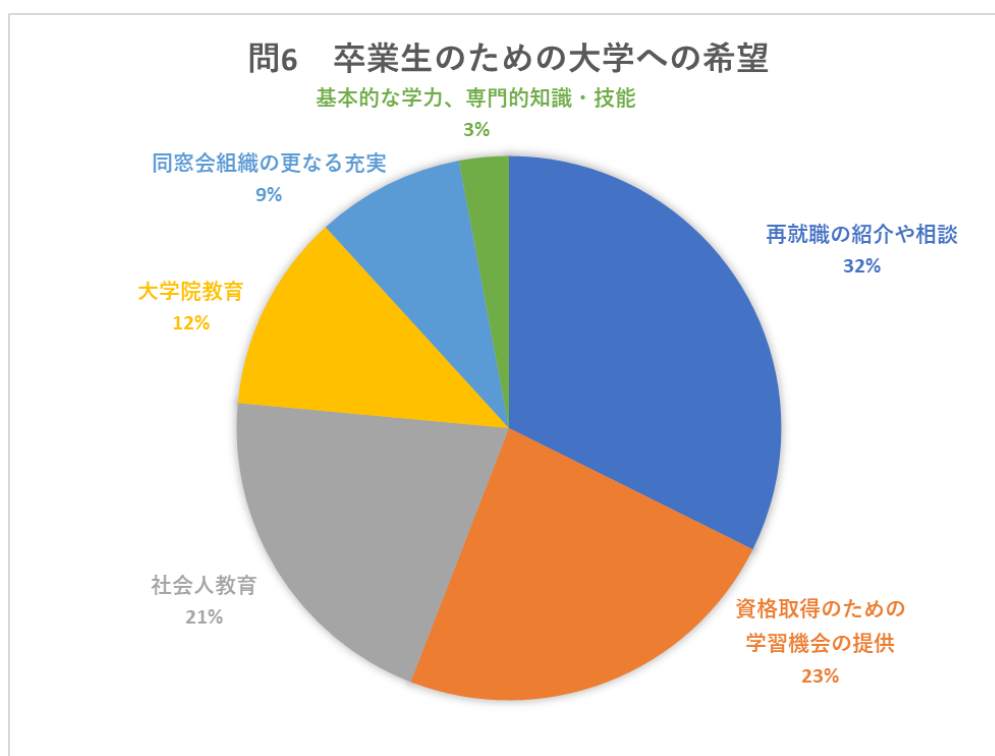
問3 との比較では、「資格獲得」を挙げた割合が大きくなっている。

- ③ 問5. 大学で学んでおきたかったことがあれば、教えてください。(自由記述)

構造力学
IT Web 開発
2012、13 年時点で、語学の選択肢に英語のみだったので、選択肢として中国語（取引先において必要であった、必要に応じて現地に行くこともあり必要であると感じました）、ドイツ語（半導体などの装置において必要であったため）在学中での語学選択を入れてほしいと感じました。
政治・経済、税金・保険制度
AI, イラストレーター関連
社会人で役立つ資格、TOEIC など

英語以外の語学、IT や AI といった新しい技術関係などのニーズが挙げられた。

- ④ 問6. 卒業（修了）生のために、どのようなことを大学に希望しますか？当てはまるものを選択してください。（3 つまで選択可）



1 位が「再就職の紹介」、2 位が「資格取得関係」、3 位が「社会人教育」であり、回答は以前の卒業生の調査とも類似している。

⑤ 問7. その他、大学に求めることがあれば、自由にご記入ください。

下記、直接的な表現となること、お許しください。

大学の掲げるテクノロジストの要件である、知識と技能の両立について、知識が不足している学生が多いことが現状の実態だと思います。個人的な考えですと、指導側にも問題があると認識しております。技術的な部分を教示する教員は多い一方で、知識や思考力そのものを指導できる人材は不足していると思います。考える力をつけるための教育は必要不可欠で、その為には、学生の思考において、どこでなぜ躓いているのかを解像度高く把握し、抽象論に留まらず個別具体的に指導できる人材の獲得が急務だと思います。

設計志望の学生には、コンペティション等で外の世界を知るきっかけに積極的に取り組むように働きかけると良いと思います。

実習を大切にしつつ、さらなる躍進を期待しています。

もしかしたら、再度お世話になるかもしれませんので、その際は宜しくお願い致します。

特待生の授業料免除を高校入学時の成績だけでなく、技能五輪などで成績を残した人にも免除してほしい。

技術的な部分だけでなく、思考力を身に着ける指導をして欲しいといった意見や、授業料免除に関する意見が挙げられた。

以上

ものづくり大学卒業生の就職先等の進路先への意見聴取等（2023 年度- 2）

本学卒業生への企業からのご意見を伺い、本学の教育内容等の改善に資することを目的に、以下の通りの意見聴取調査を実施した。

1. 意見聴取の実施時期：2023 年 12 月 11～12 日
2. 意見聴取の場所：本学内で、企業研究交流会の前後で時間をとっていただいた。
3. 意見聴取先：両学科のバランスに配慮し、各系統 3 社ずつ行った（敬称略）。
 - (1) 製造業系：
三芳合金工業株式会社
岩井機械工業株式会社
東邦車輛株式会社
 - (2) 建設業系：
向井建設株式会社
埼玉建興株式会社
大末建設株式会社

4. 意見聴取のとりまとめ概要

Q1.本学の卒業生・修了生を全体的に見て、社会人として必要と思われる能力や資質は、現時点で備わっていますか？

社会人として必要と思われる能力・資質：

- (1) コミュニケーション能力、(2) 自己理解・主体的行動力、
- (3) 課題発見・対応能力、企画力、計画力、(4) 創造力・論理的思考力、
- (5) 学習習慣・自己啓発力、(6) コンプライアンス・倫理観・モラル、
- (7) 専門知識・技能、(8) 文章表現力・数的処理能力、
- (9) 国際感覚・異文化理解力、(10) 外国語運用力、(11) 情報通信技術（ICT）活用力
- (12) チームワーク・リーダーシップ、(13) 一般的知識・幅広い教養
- (14) データ分析・数理的分析力

次のようなご意見をいただいた。

- (1)コミュニケーション能力、(2)自己理解・主体的行動力（多数）
- (3)課題発見・対応能力・企画力・計画力、(4)創造力・論理的思考力、(5)学習習慣・自己啓発力、(7)専門知識・技能などは企業により、入社後でもよいという意見もあり。
- (9)・(10)国際性の部分はあまりないが（製造業系 1 社）、国際感覚は必要（建設系 1 社）。
- (6)コンプライアンス・倫理観・モラルが備わっている。（製造業系 1 社）
- 全体の印象として、目立つ性格の方はないが、協調性があってモノづくりへの関心が高く、コツコツと努力しながら専門性を高められる方が多い傾向があると考えている。（製造業系）
- (12)チームワーク・リーダーシップがあり、明るく、元気で前向き（建設業系 2 社）

Q2.本学では、以下の知識や資質を身に付けた学生に対して学位を授与する方針を掲げています。卒業時にそれらが身に付いていたと思われますか？

評価点→	5	4	3	2	1	合計
①高度なもののづくりに対応できる基礎学力および工学の専門知識を有する	1	2	3	0	0	22
②ものづくりのための基本的な技術・技能が実践でき、それらを体験的知識として応用する力を有する	1	2.5	2.5	0	0	22.5
③工業製品又は建築・土木等のものづくり実務に関する深い理解を有する	0.5	3	1.5	1	0	21
④ものづくり現場での課題創出と実践的な課題解決に取り組む力を有する	0.5	3	1.5	1	0	21
⑤豊かな教養と国際性を持ち、社会性、創造性、倫理性を有する	0	1.5	4.5	0	0	19.5

- (評価点)
- 5：身に付けている
 - 4：どちらかと言えば身に付いている
 - 3：一概に言えない
 - 2：どちらかと言えば身に付いていない
 - 1：身に付けていない

合計は、上記の5～1のポイントに企業数をかけて合算したものであり、まとめは以下のとおり。

- ①から④までいずれも同等程度の評価となった。
- 5の評価をつけられた項目は企業によって異なっており、各企業が求める人物像による差異や、実際に就職した学生による差異が出ているものと思われる。
- ⑤については少し評価が下がっており、今後の検討が待たれる。
- 以上の結果は、同年夏に別の6社についてヒアリングした結果と同様であり、本学の卒業生への客観的評価としてとらえられる。

Q3. 技能重視の技術者教育による本学卒業生・修了生について、どのように評価されていますか？

- ① 貴社の求める人材像に合致する (5社)
- ② 貴社においては有効性を発揮できないが、産業界全体としては育てるべき人材像である (1社)
- ③ 他大学との違いがわからない (0社)
- ④ 有効であるかどうか判断できない・どちらともいえない (0社)
- ⑤ あまり有効ではない (0社)
- 5社に①を選択していただき、今後も採用していただけると期待をしている。
- ②を選ばれた1社から、産業界として期待しているので、これで良いという意見。
- 個別の意見としては、①の評価：エンジニアリング部門、管理部門、設計部門、施工・試運転まで幅広い部署で活躍できる基礎を備えているので、魅力に感じている。(製造業系)
- 個別の意見としては、現場に慣れている、現場を知っている。これは、2年生のインターンシップで40日やると現場の厳しさがわかることによるとと思われる。(建設業系)

Q4. ものづくり大学の卒業生・修了生について、どのような点を評価されて採用されましたか？

- ①専門知識／能力がある、②技能がある程度できる、④理解力／思考力がある、⑤現場を知っている／いやがらない、などに加え、元気があること、マナーが良いことなどを評価した。
(製造業系)
- 溶接など加工知識を学んでいることは、設計に役立っている。(製造業系)
- ⑤現場を知っている／いやがらない点を評価した。
- ① ⑤ ⑨が該当する。モノづくりへの関心が高く、選り好みせず、やるべき仕事を一つ一つ丁寧に取り組む姿勢があり、責任感もあるので、当社業務との相性は良い。(製造業系)
- 授業で CAD 設計、溶接をやっていることは強みである。(製造業系)
- ①専門知識／能力がある、⑤現場を知っている／いやがらない、⑥考え方がポジティブである／元気がある、⑦体力／忍耐力がある、など。特に心の体力。(建設業系)
- ②技能がある程度できることを評価。働く意義を、インターンシップを通じて見出しているのではないか。(建設業系)
- ⑤現場を知っている／いやがらない、⑥考え方がポジティブである／元気がある、⑦体力／忍耐力がある、などを評価。(建設業系)

Q5.社会人として必要なこと、学生時代に身に付けておいて欲しい能力や資質、経験しておいて欲しいこと等を教えてください。

- 専門分野に力を入れて欲しい。(製造業系)
- 社会の広い分野に知識を求め、社会人としての自分の幅を広げて欲しい。(製造業系)
- 協同作業を通じ、コミュニケーション力や、リーダーシップ力を培って欲しい。(製造業系)
- 社内外を問わず、多くの人・組織とチームプレーが必要となる。そのため、当社が学生時代に経験して欲しいことは、①学生時代に様々な人と関りながら物事に取り組む経験がある、②自らチャレンジし試行錯誤した経験がある、③「知る」ことを楽しむマインドである。
- 構内展示物等を学生が制作するといった取り組みをされているかと思うが、正にそのような経験から当社が求める素養は身につくのではないかと考えている。(製造業系)
- 技術は入社してからでよいので、社会人としての一般常識を身に着けて欲しい。なんでも話す力が欲しい。(建設業系)
- コミュニケーション力。精神的に弱い場合は強化を。上下関係の理解が必要。(建設業系)
- IT 系の学習は入れた方がよい。現場の見学やインターンシップはやった方がよい。ゼネコン側の管理についても勉強しておくが良い。(建設業系)

以上